

講義名		教養特講（東洋史）				授業形態			
担当教員	小野 達哉	開講期・曜日・時限		前期 月曜日 4 時限					
		単位数	2	履修開始年次	1 年生	ナンバリング・コード		FYE101	

主題と概要

東洋の近代史は、日本の影響が著しいとはいえ、中国の問題を焦点に展開してきたといつてよい。19世紀以降の中国は、清王朝の衰退が覆わになる中で、国内では民衆反乱に相次いで見舞われ、国外からは西洋列強の侵略・進出を受け、内憂外患に晒されていた。そうした状況下、改革運動が相次いで挫折する中で、革命運動が盛り上がりを見せ、辛亥革命・中華民国の成立を迎えるが、その後は専制・改良・革命のいずれの路線を選択するかをめぐって、なおも政治路線の模索と混乱が続くことになった。こうしたテーマは単に歴史を理解するだけに止まらず、現代の中国を考える上でも重要な論点となるだろう。この授業は、中国近代史を東洋史全体の流れの中で理解することを目的とし、受講学生がこれらの基本知識を修得し、自己のあり方を歴史の中に位置付けて考えられるようになることを目指す。

到達目標

中国史の基本事項について理解し説明できる。
中国近現代史の流れを理解し説明できる。
中国の現代化象について理解し説明できる。
自己と近現代史とのつながりを理解し説明できる。

提出課題

毎回授業時に実施する小テスト

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

毎回の授業時におこなう小テストで、学生の講義の理解度を確認し、それに必要に応じてコメントを付けて返却するつもりである。

評価の基準

毎回授業時の平常点と、期末試験の総合評価とする。毎回授業時の課題提出だけでなく、学期末に定期試験を実施するので、その旨注意されたい。

履修にあたっての注意・助言他

この講義は予備知識は必要としないので、その点は安心して受講してくれてよい。ただし、東洋史に限らず、日本史・西洋史など歴史全般に関心を持ってもらいたいと思う。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

講義ではプリントを使用する。参考文献は授業時に随時指示する。

授業計画

【第1回】
テーマ：清帝国の斜陽：19世紀前半の嘉慶時代の中国国内・国外問題について説明する。
予備内容：シラバスの内容を熟読したうえで、講義に出席すること（90分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）
【第2回】
テーマ：2つのアヘン戦争：アヘン戦争・アロー戦争による対外関係の変化について説明する。
予備内容：授業のキーワードを調べたうえで、講義に出席すること（90分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）
【第3回】
テーマ：太平天国：太平天国の乱・捻軍の乱など19世紀後半の民衆反乱について説明する。
予備内容：授業のキーワードを調べたうえで、講義に出席すること（90分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）
【第4回】
テーマ：洋務運動と変法運動：清末の2つの改革運動が挫折を余儀なくされる過程について説明する。
予備内容：授業のキーワードを調べたうえで、講義に出席すること（90分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）
【第5回】
テーマ：義和団事件：排外運動の高まりが中国に如何なる結果をもたらしたかを説明する。
【第6回】
テーマ：中国分割：20世紀初めの中国が如何なる国際的環境に置かれたのか説明する。
予備内容：授業のキーワードを調べたうえで、講義に出席すること（90分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）
【第7回】
テーマ：立憲派と革命派：20世紀初めの2つの政治路線の相剋・消長について説明する。
予備内容：授業のキーワードを調べたうえで、講義に出席すること（90分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）
【第8回】
テーマ：辛亥革命：辛亥革命から中華民国の誕生までの過程について説明する。
予備内容：授業のキーワードを調べたうえで、講義に出席すること（90分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）
【第9回】
テーマ：軍閥混戦：1910—20年代の軍閥の割拠により政局が混迷する様相を説明する。
予備内容：授業のキーワードを調べたうえで、講義に出席すること（90分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）
【第10回】
テーマ：五四運動：新文化運動が中国の思想・文化を如何に指導し変えたかを説明する。
予備内容：授業のキーワードを調べたうえで、講義に出席すること（90分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）
【第11回】
テーマ：国民革命：国民党・共產党の誕生、および両党の協調・対抗関係について説明する。
予備内容：授業のキーワードを調べたうえで、講義に出席すること（90分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）
【第12回】
テーマ：日中戦争：1930年代の戦時下の中国人の生活・動員状況について説明する。
予備内容：授業のキーワードを調べたうえで、講義に出席すること（90分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）
【第13回】
テーマ：人民中国：中華人民共和国誕生までの過程とその後政治状況を説明する。
予備内容：授業のキーワードを調べたうえで、講義に出席すること（90分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）
【第14回】
テーマ：現代中国：現在の中国の政治・経済・社会の概要について説明する。
予備内容：授業のキーワードを調べたうえで、講義に出席すること（90分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（150分）
【第15回】
テーマ：まとめ：これまでの講義のまとめ。
予備内容：授業のキーワードを調べたうえで、講義に出席すること（90分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

全学対象の教養科目であるため、「流通科学大学の学生が卒業時に共通して身に付けておくべき資質・能力」(1)～(5)の習得を目指す。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業は学生に随時発問しながら進めるが、特段ICTを活用することはない。

実務経験の有無及び活用

なし

備考

なし